

# 令和6年度冬季イカナゴ親魚調査結果概要

香川県水産試験場

令和6年12月9日に、高松～庵治地先において空釣りこぎによる親魚調査を実施しましたので、その結果をお知らせします。

なお、例年12月下旬から1月上旬にかけて、2回目の調査を実施していましたが、本年度は天候等の関係で中止となりました。

## 1. 親魚密度 (図1、表1、2)

- ・速力3～5ノットで1地点5分曳きを原則3回ずつ図1の5地点において実施した。

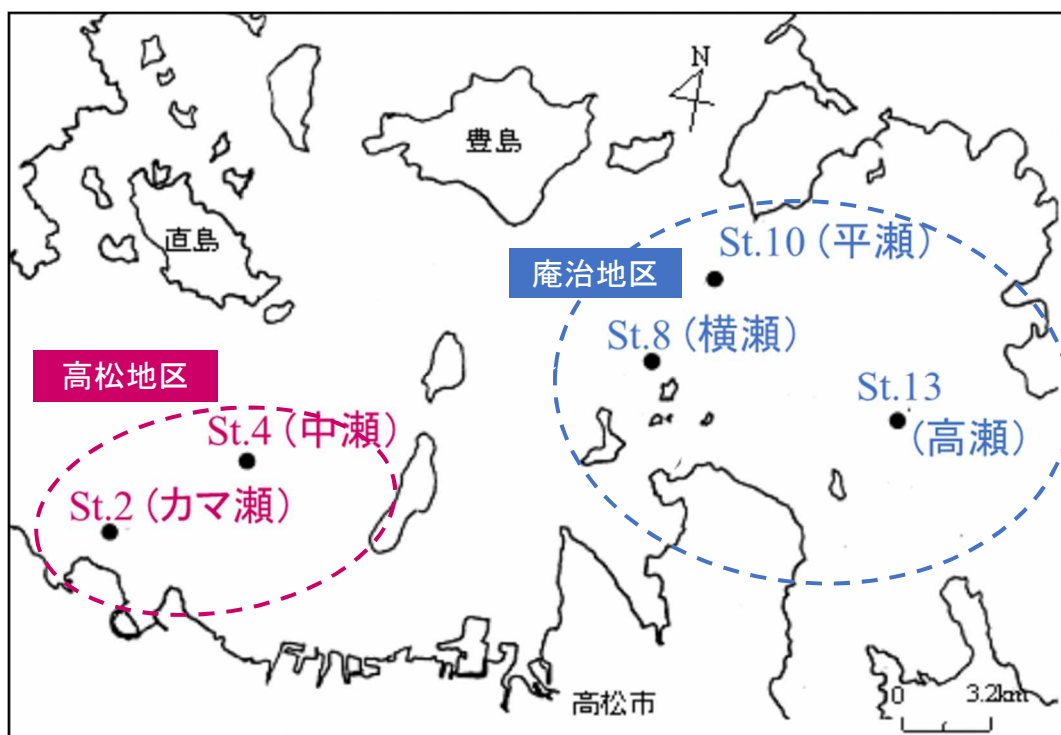


図1 調査地点

表1 調査地点ごとの親魚密度 (空釣りこぎ1回あたりの採集尾数)

調査地点		0歳魚	1歳以上
高松地区	St. 2 (カマ瀬)	0.0	0.0
	St. 4 (中瀬)	0.0	0.0
庵治地区	St. 8 (横瀬)	0.0	0.0
	St. 10 (平瀬)	0.0	0.0
	St. 13 (高瀬)	1.0	0.0
平均		0.2	0.0

表2 親魚密度・年齢組成・平均全長（過去の調査との比較）

		0歳魚			1歳魚以上			全体
		親魚密度 (尾/回)	割合 (%)	全長 (mm)	親魚密度 (尾/回)	割合 (%)	全長 (mm)	親魚密度 (尾/回)
R2	夏季	2.1	100.0	93.8	0.0	0.0	-	2.1
	冬季	10.0	96.8	95.0	0.3	3.2	135.5	10.3
R3	夏季	4.4	95.3	83.5	0.2	4.7	123.0	4.6
	冬季	5.3	65.3	86.4	2.8	34.7	125.4	8.0
R4	夏季	5.1	97.4	80.0	0.1	2.6	138.8	5.2
	冬季	1.7	72.9	86.3	0.6	27.1	124.2	2.3
R5	夏季	1.1	100.0	84.9	0.0	0.0	-	1.1
	冬季	0.3	90.9	86.6	0.0	9.1	134.1	0.4
R6	夏季	0.4	100.0	84.9	0.0	0.0	-	0.4
	冬季	0.2	100.0	101.2	0.0	0.0	-	0.2
H26-R5	夏季	3.8	96.1	85.9	0.1	3.9	136.1	3.9
平均	冬季	3.9	84.2	88.9	0.7	15.8	134.3	4.6

・親魚密度（空釣こぎ1回当たりの採集尾数）は、0歳魚においては0.2尾（前年0.3尾、過去10年の平均3.9尾）、1歳魚以上は採捕されず（同0.0尾、0.7尾）であり、0歳魚、1歳魚以上ともに過去最少であった。

\*年齢の起算日は1月1日とした（0歳魚：令和6年1月1日生まれ）。

## 2. イカナゴ親魚の全長組成（図2）

・0歳魚の平均全長は101.2mm（前年86.6mm、過去10年の平均88.9mm）で、過去最大であった。

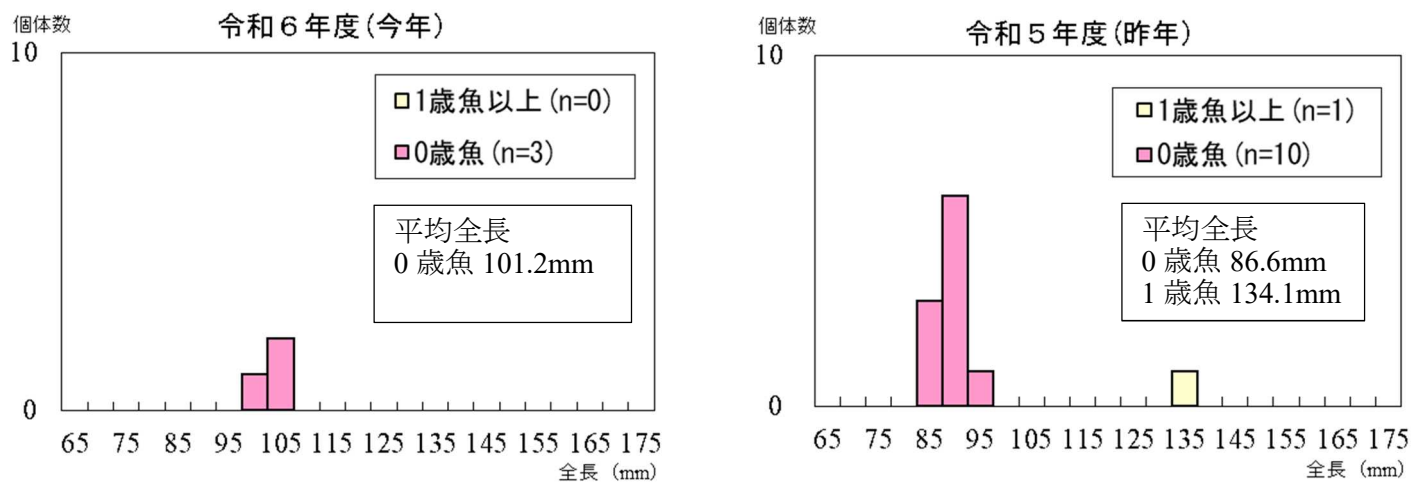


図2 イカナゴ親魚の全長組成

### 3. 産卵状況

#### 1) 水温の動向 (図3)

- 今期の屋島湾 (備讃瀬戸) の水温は、7月から11月にかけて、平年値 (1975年-2023年の平均値) より平均  $1.47^{\circ}\text{C}$  高く推移している。
- 成熟開始のきっかけになると推測されている「水温  $20^{\circ}\text{C}$ 」を下回ったのは、11月21日で、平年 (11月9日頃) より12日遅かった。
- 夏眠終了が本格化すると推測されている「水温  $13^{\circ}\text{C}$ 」を下回ったのは、12月22日で、平年 (12月19日頃) より3日遅かった。

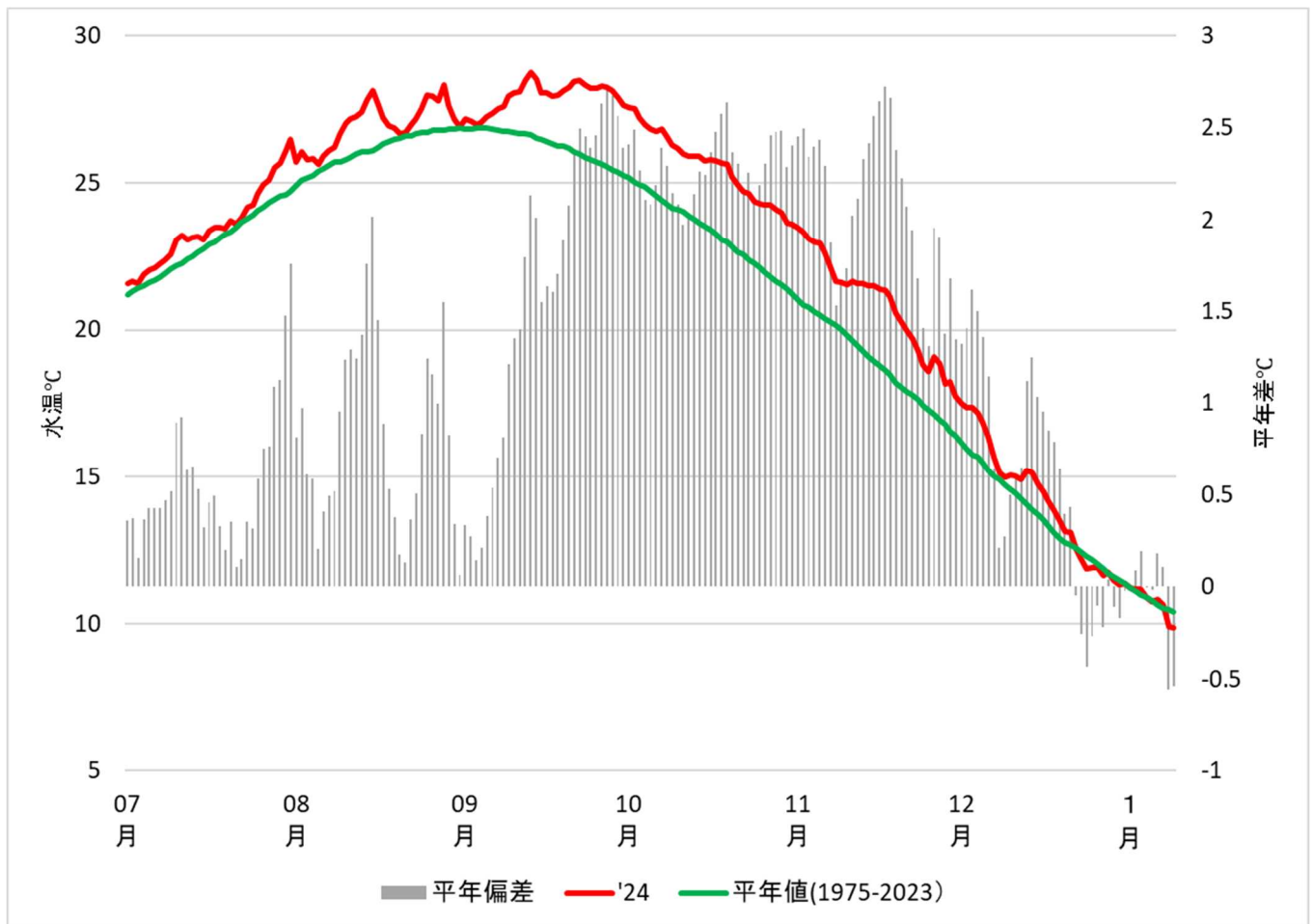


図3 水温の推移 (屋島湾水深 1.5 m, 9 時水温)

## 2) 生殖腺の成熟状況 (写真)

- ・生殖腺熟度指数 (GSI (%)) = 生殖腺重量 ÷ 体重 × 100 は、メス 3.3 (n=2)、オス 11.5 (n=1) であった。
- ・サンプル数が少ないものの、未成熟の個体は見られず、水温低下と共に順調に産卵が行われたと推測される。



写真1 オス生殖腺の状態 (高瀬 2024. 12. 9)



写真2 メス生殖腺の状態 (高瀬 2024. 12. 9)

## 4. 今後の予定

### ○稚仔の出現状況調査

#### 1) ボンゴネットによる往復傾斜びき

- ・備讃瀬戸及び播磨灘の7調査定点において、1月後半及び2月前半の2回実施する予定です。